



校長室だより

令和8年度
9月25日
NO. 20

みんなの奉仕活動、伝統の奉仕活動、「ありがとう！」奉仕活動

「社会的な成功をかなえると、人から『おめでとう』と言われます。対して、人間的な成功をかなえると、人から『ありがとう』と言われます」

『強いチームはなぜ「明るい」のか』

(幻冬舎新書) 吉岡眞司著



秦梨小みんなで奉仕活動、授業。夏休み作品展、山の学習説明会ありがとうございました。

草刈りされた土手に、彼岸を待ちわびたかのように、真っ赤な彼岸花が咲きます。今年はどこどころ白い彼岸花も、鮮やかに際立っています。ごんぎつねの舞台、矢勝川の彼岸花のように、秦梨の里にも鮮やかな光景が広がります。

秦梨の伝統の奉仕活動が、今年も少し涼しい中、行われました。世界でも日々、子供が学校を清掃する国は少数です。近年、日本を做って清掃活動を始めた国もあるなど、自分たちで学校を管理し責任感を培うことができる、そのよさは今も見直されています。秦梨っ子も毎日、少ない人数で学校中を掃除しています。大きな学校より、一人一人の役割はより大きく、掃除中、無駄話をしたりよそ事をしたりしている子はほばいません。責任をもって掃除をする子供たちは秦梨の誇りです。

十九日のPTA奉仕活動でも、子供たちは保護者・家族と協力し、真面目に掃除に取り組む姿が見られました。社会でもよく災害が起こると、奉仕活動が話題になります。もちろん、強制や善意の押し売りで行うのではなく、それは社会貢献の意識と言えるでしょう。子供にとつても、他者理解や協調性、責任感などを培う大切な機会となります。活動中、家族と「どうやってやればいい」「次は、ここね」など協力しながら、嫌がらずに、どうしたらいいか考え他に行うことを探すなど、自主的に、笑顔で活動する姿は立派です。また、こうして家族と繋がることは、社会に繋がり貢献するものにもなると考えます。

授業にも同じ側面があります。同じ目的を共有し、みんなで協力してやり遂げること、それはこれから生きる子供にとつても大切な力だと考えます。授業やこれからの行事を通して、成長する秦梨っ子の勇姿を楽しみにしています。

- ・奉仕活動へのご協力、ありがとうございました。学区の方にも「ふるさと一歩」周辺の整備をしていただけました。また、山の学習説明会にもご参加くださり、ありがとうございました。人数が減り時期もいつもと違う中で、活動内容も変わっていきますが、安全に行ってまいります。ご協力お願いします。
- ・子供たちの後期委員会がスタートします。子供たちが中心となって活動します。また、岡崎市の方から、子供にも新しいiPadが入りました。順次移行し、活用していきたいと思ひます。